

令和元年度第3回 第三次多摩市子どもの読書活動推進市民ボランティア連絡会 要点録

日 時 令和元年11月28日(木) 午後1時30分～午後4時10分
場 所 多摩市立図書館 本館 講座室
出 席 おはなしチャチャチャ、コアラ文庫、多摩おはなしの会、
多摩市文庫連絡協議会、つくしんぼ文庫、布の絵本サークルピエロ
ひなたぼっこ、ひなの会、もりの文庫
欠 席 なし

開会

(事務局)

人事異動により、子ども読書支援係に職員が配属され、3名体制に戻った(欠員補充)。
(事前配付資料、当日配付資料の確認)

1 第2回第三次多摩市子どもの読書活動推進市民ボランティア連絡会要点録(案)の確認 (訂正事項)

P.1 (委員からの主な意見、質問等)「おはなし会を開催」→「おはなし会に協力」に、
「昨年」→「今年度」に訂正

P.4「舞台の上で」→「会場内で」に、「(市民連絡会に)」→「(連絡会に)」に、
「主催を市民連絡会に」→「主催を連絡会に」に訂正

P.6「令和元年度」→「令和元年」に、「中央図書館を作る会」→「中央図書館をつくる会」
に訂正

(会長)

訂正内容についてはこれでよいか。→了承の上、確定

2 報告事項

(1) 子どもの読書活動推進に関する主な事業等について
(事務局)(資料に基づき説明)

(委員からの主な意見、質問等)

- ・図書館主催のブラッシュアップ読み聞かせ講座について、講師は決まっているのか。
→(事務局)講師はJPICアドバイザーの方で、内容は集団への読み聞かせの中級編である。対象は、保育園、小学校などで読み聞かせをしている方、小中学校の学校図

書館司書・司書教諭、多摩市立図書館主催の初めての読み聞かせ講座を受講した方など。講義終了後、希望者に図書館職員が初めての読み聞かせのフォローアップ、実技を行うことを考えている。

(2) 「布の絵本」交流会との共催イベントの開催について

(事務局) (資料に基づき説明)

詳細は、布の絵本サークルピエロの委員より説明していただく。

(布の絵本サークル ピエロ) (資料に基づき説明)

- ・資料のスケジュールでいきたいので、市民ボランティア連絡会に協力をお願いしたい。市民ボランティア連絡会には、5月29日の5階ホールの机運びや5月30日の当日受付をお願いしたいので、各2名ずつぐらい参加していただけたらありがたい。1時間交代でもかまわない。ギャラリーのタペストリー展示では、ギャラリーのパネルを動かす作業などを多摩市文庫連絡協議会のみなさんをお願いしたい。布の絵本の楽しみ方について、東京布の絵本連絡会の代表者と打ち合わせをしたときに、布の絵本を使って読み聞かせをしている団体はないか、もしあれば布の絵本を使って読み聞かせをして欲しいという話があった。どこかやっている団体はあるか。

(委員からの主な意見、質問等)

- ・定期的にやっているかどうかはわからないが、なかよし文庫さんはやっているのではないか。

- ・著作権のあるものは、サークルの方たちはどのようにしているのか。

→ (布の絵本サークル ピエロ) 著作権のあるものはやはりできないと思う。サークルでは著作権の問題がないもの、自分たちのオリジナルを使っている。

(布の絵本サークル ピエロ)

誰でも図書館で借りられるものを使って読み聞かせしているところがあるか。(東京布の絵本連絡会から) こんなふうに布の絵本を使って楽しんでいるということを見せてほしいという提案があった。市民ボランティアと布の絵本のグループで色々やっているところがあるので、おはなし会ではなく、一緒にこういうふうにして使っているということをやりたいと思う。

(委員からの主な意見、質問等)

- ・おはなしチャチャチャでも別の団体でも布の絵本を使っている。メンバーにも相談し、できたら参加したい。

(会長)

布の絵本を実際に使っている方に協力していただきたい。受付等は手伝うということが前回決まったので、もう少し具体的になったところで声をかけていただき、皆さんの都合も調整し、布の絵本サークルピエロさん中心でやっていただく。おはなし会の

ほうは持ちかえったうえで返事をいただくということでよろしいか。→了承

(布の絵本サークル ピエロ)

まだこの先何か月かあるので、これからおはなし会をするときに多摩市立図書館所蔵の絵本の中から自分たちに合うようなものを選んでやっていただき、やったことをここで報告していただけたらと思う。

(委員からの主な意見、質問等)

- ・布の絵本は、子どもたちの反応はとてもよいが結構読み聞かせ能力があるので、コツを教えてほしい。長時間の読み聞かせの中で、長いお話を読んだあとの合間に入れて次の話に行くというように使わせてもらったりしている。読み聞かせで布の絵本だけというのは難しいなとも思う。

→(布の絵本サークル ピエロ) 布の絵本だけを使って読み聞かせをするわけではなく、そのようにおはなし会の間に1冊入れて場を和ませるなど、そういうものに使うとよいと思っている。

- ・個人的に自分の子どもに読み聞かせることをしている。布の絵本に直接触れられることで、子どもたちはとても楽しそうにしている。読み聞かせの中で、実際に触れるという楽しみがどのように取り入れられるのか。

→(布の絵本サークル ピエロ) 東京布の絵本連絡会からは、例えば、しゃもじが裏返ると象の鼻になるというような絵本を、布で本にしたものがある。それを1回やって見せて、次は何になるかなと言って次は子どもにやらせてみるというやり方をしていると聞いた。

(委員)

もっと具体的になってきてから参加グループを募り、詰めていくということでのいいか。→よい

(事務局)

ご協力いただけるとのことなので、ご協力についてのお願い文を図書館と東京布の絵本連絡会との連名で団体にお出ししたいが、よろしいか。→了承

(布の絵本サークル ピエロ)

1月に布の絵本グループにやる内容を出し、4月に図書館などにチラシを置くことを考えている。共催なので、チラシの連絡先に図書館の子ども読書支援係を入れてよいか。

→(事務局)「多摩市立図書館子ども読書支援係」と明記していただくことで問題ない。表記の仕方の詳細は具体的にチラシを作る段階で相談させてほしい。

(会長)

布の絵本の共催イベントについては、以上でよろしいか。他に何かあるか。

(委員)

受付の担当の要請も2月に決定ということでのいいか。→よい

(3) 第11回子ども読書まつり《ほんともフェスタ》について

(事務局) (資料3に基づき説明。資料の「令和元年」を「令和2年」に訂正。)

前回は、希望する団体に会場でオープニングおはなし会をしていただいたが、今回も希望する団体があればそのようなスペースとして活用していただきたい。また、先日の紙芝居講座を受講された方で希望があれば、紙芝居の上演をしてもらうのもよいと考えている。永山の会場については、いつも案内や整備にボランティアの方のご協力をいただいているが、今年もぜひお願いしたいと思っている。講演会については、今回は2回開催したいと思っている。チラシに載せるおはなし会の日程表については、講演会が2回になったことで、スペースの都合上すべての掲載が難しく、特別おはなし会に絞って原稿を作りたいと考えている。

(委員からの主な意見、質問等)

- ・チラシの定例おはなし会の記載を省略するのではなく、どうにか工夫して載せられないか。

(会長)

今後どのように子ども読書まつりをやっていくか、集中して何日かでやるか一ヶ月でやるかなど考えるということはあるとしても、来年は一ヶ月でやろうとしている。その一ヶ月のなかで日常のおはなし会も宣伝するということが一つの大きな柱であると思う。どのように工夫すべきか。

(委員からの主な意見、質問等)

- ・講演会用のチラシを別に作成し、間に挟むというのはどうか。
- ・講演会のことを詳しく書くのではなく、別紙チラシを作成しそれがあつたことを書いてはどうか。
- ・ほんともフェスタの期間を一ヶ月間取つていて、ある特定の日にちだけを大きく載せるのは趣旨が違ふと思う。
- ・講演会は主に大人対象のものもある。子どものためのものというものが薄れてしまうのではないか。
- ・もともと一ヶ月にした趣旨が、もっと日常の定例おはなし会に子どもたちが来てくれるようにというものであつたと思う。載せないのは本末転倒ではないか。
- ・ほんともフェスタに関心がなくてもその講演会は行きたいと思う方がいると思うので、チラシは別に作つた方がよいと思う。
- ・定例おはなし会を載せて講演会のところを1ページの半分ずつにすれば、本末転倒にもならず広報もできるのではないか。
- ・チラシを別途作成すると枚数が増えてしまうが、それは必要なことなのではないかと思うがどうか。

(事務局)

このチラシは小中学生全員に配るため、かなりの枚数になる。おはなし会日程表の省略は、それがいいというわけではなく、紙面上そのようにせざるを得ないと考えた。フォローとして各図書館に掲示をする、ホームページに掲載している旨をきちんと書くなどを考えて提案した。再検討したいと思うが、いまこの場で枚数を増やすということは言えない状況である。また、原稿を確定する時期や作業面などいろいろな制約があるということもご理解いただきたい。

(委員からの主な意見、質問等)

- ・ ページ数を増やさないでやれる工夫もあると思う。定例おはなし会を入れるという方向で工夫していただきたい。

(会長)

今回については期間を一ヶ月で行い、例年通り定例のおはなし会を広めてくというのが大きな趣旨。定例おはなし会の記載は外せないと思うので、紙面の工夫をしていただきたい。

(委員からの主な意見、質問等)

- ・ 前回、グリナード永山の会場でのおはなし会はどうなのかという意見が何人かの方から出ていた。今回もそこでおはなし会をするにあたり、皆さんの意見を反映した手立て等は考えているのか。

(事務局)

前回実施した感想として、「よかった」「続けてよいのではないか」という意見もいただいている。展示会場でもおはなし会をしていただける団体がいれば、していただきたいと考えている。

(委員からの主な意見、質問等)

- ・ 人が行き交う雑踏の中で行うおはなし会にはデメリットがある。
- ・ 色々な形で子どもたちに働きかけていくことは必要だが、図書館が団体とどう関わっていくか、おはなし会をどう位置づけてどうやっていきたいのか。ボランティアや市民と協働でやっていく上での姿勢として、そこが一番の基礎になるのでは。
- ・ おはなし会の意味を、図書館のほうでよく考えていただきたい。単なるイベントの中でお客様が来て、楽しかったと言ってもらえたらなんでもいいということだったら、図書館がする「ほんともフェスタ」という意味がなく、おはなし会の意味をなさないのではないか。
- ・ おはなし会に行くためのきっかけづくりをするイベントということであれば、成立すると思う。それをおはなし会とっていることに抵抗感がある。
- ・ 紙芝居をするには力量がいる。講座を1回受ただけで出来る方がいるのか。
- ・ 図書館として、児童サービスをこうしていきたい、そのためにここではこうして行きたいという姿勢を見せて頂きたい。それが見えない中で、やりたい人がいればやればい

いというのは違うと思う。

- 先日の紙芝居講座はお祭り向きの紙芝居ではなく、図書館でのおはなし会のように、じっくりと作品を味わうという方向きの講座であった。この間の講座を受けた人にいきなり演じさせるのは、無理ではないか。
- 囲われていたり閉じられた空間があるのであればよいが、あの場所は通り道でもあり、やる人にとっても厳しいのでは。
- 図書館としてはその場所でやりたいということなので、そこに見合うようなイベントをすればよいと思う。できれば図書館には、おはなし会の場所としては厳しいところがあるということをきちんとわかった上できっかけづくりをするという姿勢を持ってもらいたい。
- 最初からイベントありきのような気がして違和感がある。
- おはなし会をする側は話を一生懸命聞いてもらいたい、図書館側は少しでも足を止めてそれが図書館への来館に繋がればよいという姿勢である。それがイベントとして成功しているのであればよいが、もうすこし成果が上がると思う。今回はここまでできたので、成功するよう努力しようと思う。あの場所でしかできないのならそれはそれでよいが、そこに見合うような力量で頑張るしかない。

(会長)

主役は子どもたちであり、子どもたちにとって良い環境でおはなし会をしたいと思う。

(事務局)

色々なご意見をいただいたが、今後のスケジュールとしては、12月上旬に各団体に希望を募る文書を出したい。また、永山会場での案内の協力文書についても、12月上旬に出して1月末の締切りとしたい。団体のPRのパネルについても案内を出したい。

(会長)

希望団体に案内文書を出すときに、「目的」「どういうことをするのか」「場所の状況」「おはなし会に来てもらうためのきっかけづくりであるという趣旨」を明確に出していただきたい。全員一律に文書を出すということでもなくとも、それぞれ団体がやっていることも違うので、やってもらいたい趣旨に合うことをしている団体を含めて出せばいいかと思う。

3 協議事項・意見交換

(1) 令和2年度にむけて市民ボランティア連絡会委員募集の周知について

(事務局) (資料に基づき説明)

(委員からの主な意見、質問等)

- このやり方で実際には参加者がいなかった。新しい工夫はあるか。

(事務局)

この方法でやることになる。お願いとなるが、このような子ども読書に関心がある活動をしている団体の代表者をご存じであればぜひお知らせしていただきたいと思っている。

(会長)

みんなで考えたい。

(委員からの主な意見、質問等)

- ・まわりには呼びかけてみたが平日には難しいとの返事で、その人たちにまた呼びかけても同じことになりそうで難しい。
- ・図書館でボランティアをされている方々が全員出てきてもいいのでは。まず職員が直接声をかけるなど、図書館がボランティアの方々に参加を呼びかけてほしい。
- ・図書館でボランティア活動をしている団体なのであれば、義務付けではないが原則参加していただくことも考えていってはどうか。

(会長)

このボランティア連絡会の役割や、子ども読書支援の計画の中でどういうところを私たちが担っているのかということがよくわからなくなっている気がする。それをもう少し明確にしていくことによって、誰が集まって話さなければいけないのかがわかってくると思う。来年度のことについてはやっていただき、私たちもどういうふうにしていけばいいのか、今後考えていきたい。

(2) 主催事業に保育付きの講座を設けることについて（意見交換）

(事務局) (資料に基づき経緯等説明)

保育付きの講座を設けることについて、第三次計画の具体化に向けて報告と意見交換をしたい。

(委員からの主な意見、質問等)

- ・中高生向けの講座でも保育付きとするのか。
→ (事務局) 対象が中高生向けの講座であっても、子どもの読書に関心のある方も対象としており、大人が参加する可能性がある。保育を必要とする保護者がいれば制限はしない。保育を付けるかどうかは個々に検討する。明らかに必要なければ対応はしない。
- ・参加申し込み時点で保育を必要とする方がいたら、対応するということか。もしくは、はじめから保育付き講座と銘打って募集するのか。
→ (事務局) 「保育を希望する方は何日前までにお申し込みください」という形にして対応することを考えている。希望がないのに保育士を用意するわけではなく、事前に申し込みをしていただき、保育対応が必要となったら手配をする。希望がなかった場合、結果として会場に保育士がいらないということはある。

(会長)

また今後、具体的にになった段階で考えていくこととする。

(3) 子ども読書まつりのあり方について（意見交換）

(事務局) (参考資料に基づき説明)

今回は色々なご意見をいただき、「イベントの内容」、「開催期間」、「イベント名」の順番で固めていくこととなった。ほんともフェスタの今後について、皆さんの意見を伺いたい。

(委員からの主な意見、質問等)

- ・団体で、ほんともフェスタをどのようにしていくか話し合った。「定例のおはなし会は大事なのでチラシには掲載してほしい」という意見、「ほんともフェスタ期間の定例のおはなし会はその月に特に参加者が多いということはなかった」という意見が出た。一ヶ月間行わなくても、例えば3日間など短い期間で行うのはどうか。
- ・大型絵本を作成するなど、他のところでやっている子ども読書まつりの企画を、多摩市でも活かしてはどうか。
- ・イベントとして集中的に特別おはなし会を企画して、やってみてはどうか。

(会長)

まずは、今行っている形態がどうなのか、こういう風にしたらいいのではないかと、いうことを話し合い、そこが決まってから具体的なことを話し合っていきたい。

(委員からの主な意見、質問等)

- ・ほんともフェスタのイベントが形骸化しているように思える。いま一度原点に帰り、子どもと本を繋げるためにどういうことができるのか、こういうことをしてみたいという意見を皆で出し合い、「子ども読書まつり」としてやっていけるか考えるのはどうか。

(会長)

「子ども読書まつり」ありきではなく、子どもたちのために自分たちは何ができるのか、次回皆さんに一言ずつ意見を言っていただく時間を設けたい。

4 その他

(1) 赤ちゃんおはなし会参加者へのフォローアップについて

(事務局)

赤ちゃんおはなし会参加者へのフォローアップについては、今後アンケートを取るなど事務局で現状把握をしたあとで、ここで情報交換をしていただきたいと思います。

(2) 東京都立多摩桜の丘学園との連携事業 講師派遣研修について

(事務局)

図書館やボランティア団体の皆さんにスキルアップしていただくために、外部講師を招いて研修の場を設けることとしたい。再来年度以降になると思うが、東京都立多摩桜の丘学園の先生に来ていただけたら教えてもらいたいことを、今後皆さんに伺いたいと考えている。

5 情報交換及び次回日程について

次回日程

令和2年2月13日(木) 午前9:40~12:00

情報交換

- ・布の絵本の貸し出し方法について、関戸図書館では布の絵本の部品を本体から外して別の袋に入れて貸し出していると聞いたが、そのようにしているのか。
→ (事務局) 確定したとは聞いていないが、そのようにした理由は、貸出し時と返却時に部品の点検が容易にできるということ、そして、これらの外してある部品を使って自由にお話を作ることが理解しやすいという話があった。今後どうするかを話し合う必要がある。
→ (委員) 特に物語の絵本に関して、その部品を全部取り出して別になっているというのは、図書館員が貸出しの手間を省くためにやっているのではないかと思う。
→ (事務局) そういうご意見をいただいたということで、今後検討していきたい。
- ・文庫連絡協議会 文庫連だよりの10月号、11月号を配布

(午後4時10分終了)